

I P O実務検定セミナー
「上場準備のスケジュールとキーポイント」

I. 上場準備のスケジュール

1. スケジュールの概要

項目	3期前	直前々期	直前期	申請期
1) 公開準備プロジェクトチーム	設置・編成	活動	活動	活動
2) 主幹事証券会社の決定	選定・決定			
3) 監査法人等の決定	選定・決定			
4) 資本政策の立案・実行 株式移動・第三者割当増資の開示期間	立案	実行 開示	実行 開示	開示
5) 関係会社等の整備 イ) 役員構成の検討 ロ) 特別利害関係者との取引の整備及び 資本構成の見直し	方針決定と整備 方針決定と整備	整備完了 整備完了	運用 運用	運用 運用
6) 経営管理体制の整備・充実 イ) 社内規程の整備・運用 ロ) 利益計画と予算制度の整備・運用 ハ) 原価計算制度、販売・購買管理体制 等の充実 ニ) 内部監査制度の運用	整備 整備 整備 整備	整備完了 整備完了 整備完了 整備完了	運用 運用 運用 運用	運用 運用 運用 運用
7) ディスクロージャー体制の整備・充実 イ) 会計処理基準 ロ) 財務諸表作成・開示 a) 連結（個別）財務諸表 ハ) 株式公開申請書類の作成 a) Iの部の作成 b) IIの部の作成	検討	適正化 適正意見 準備・ドラフト 作成	継続適用 適正意見 準備・ドラフ ト見直し	継続適用 適正意見 完成提出 完成提出

2. 各プレイヤーとの関係

- (1) 主幹事証券会社
- (2) 証券取引所
- (3) 監査法人
- (4) 証券印刷会社
- (5) 株主名簿管理人
 - ① 株式事務代行機能
 - ② 株式事務整備サポート
- (6) その他のプレイヤー
 - ① IPO コンサルタント
 - ② 顧問弁護士
 - ③ 顧問税理士
 - ④ 顧問社労士
 - ⑤ 会計事務所

3. 上場準備会社の実施事項

- (1) 3期前
 - ① 会計制度の整備
 - ② 中期経営計画の立案
 - ③ 資本政策
 - ④ 関連当事者取引、関係会社整理
 - ⑤ 過年度決算の修正
- (2) 直前々期

上場企業に必要な要素の整備を完了することが重要であり、運用は直前期で間に合う。

 - ① コーポレートガバナンス
 - ② 利益管理体制
 - ③ コンプライアンス体制
- (3) 直前期

直前々期に整備したものの適切な運用が大前提。

 - ① 上場前規制の準拠
 - ② 反社会的勢力との関係排除
- (4) 申請期
 - ① 定款変更
 - ② 株式等振替制度
- (5) 上場承認後